

プレスリリース
2007年6月19日**フォーステン・ネットワークス
PoE 対応のエッジ・スイッチ「S50V」を発売開始**

フォーステン・ネットワークス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:木鎌三千雄、以下 フォーステン)は本日、イーサネット・ケーブル経由で電力を供給する PoE (power over Ethernet) 技術に対応したエッジ・スイッチ「S50V」を国内向けに出荷開始したと発表しました。参考価格は 123 万円(税込)で、フォーステンの販売代理店各社を通じて出荷されます。

S50V は、1U ラック型のエッジ・スイッチで、ワイヤレート(注)のギガビット・イーサネット(GbE)を 48 ポート搭載します。PoE の規格である IEEE802.3af に準拠し、各ポートで最大 15.4W、スイッチ全体で最大 320W をイーサネット経由で給電します。同スイッチは、ビルの配線室に設置し IP 電話や無線 LAN アクセスポイントなど、増加する PoE 機器の集約に利用できるほか、コンセントの数に限りがあったり、電源供給がしにくい場所にスイッチを設置したいという企業やデータセンタのニーズに応えます。主な仕様は次の通りです。

- GbE を 48 ポート搭載。
 - 10/100/1000BASE-T × 44 ポート
 - 10/100/1000BASE-T または SFP 光コネクタ(1000BASE-SX/LX/ZX) × 4 ポート
- アップリンク用に最大 4 ポートの 10GbE (10GBASE-CX4/SR/LR/ER/ZR) 接続を提供
- 3 台までスタックでき、GbE を最大 144 ポート提供
- 288Gbps のスイッチング・ファブリック容量と 131Mbps 以上のフォワーディング容量を提供
- 高性能サーバや NAS の接続向けに 9,216 バイトまでのジャンボフレームをサポート

(注) 当該ポートが、定められた帯域速度で(1GbE であれば毎秒 1 ギガビットで)パケット転送を行うことができること。

フォーステン・ネットワークスについて

フォーステン・ネットワークス 株式会社(日本法人:東京都新宿区、代表取締役:木鎌三千雄、以下 フォーステン)は、フォーステン・ネットワークス インク(本社:米国カリフォルニア州サンノゼ、CEO 兼 社長:マーク・ランドル)の 100%子会社です。フォーステンは、ギガビット・イーサネットおよび 10 ギガビット・イーサネットのパイオニアです。同社の「E シリーズ スイッチルータ」は、故障の際にも止まらないクラス最高のレジリアンシ、優れた拡張性により、予測通りのアプリケーション性能を確保し、ネットワークの高い可用性と運用コストの削減を可能にします。今日、複数のギガビット・イーサネットならびに 10 ギガビット・イーサネット網でフォーステンの製品が採用されています。詳細は、<http://www.force10networks.co.jp> をご参照ください。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先
フォーステン・ネットワークス 広報代理
ホフマン ジャパン 鷲野
Tel: 03-5159-2145 Fax: 03-5159-2166
Email: mwashino@hoffman.com

製品に関するお問合せ先
フォーステン・ネットワークス 株式会社
Tel: 03-5322-2825 Fax: 03-5322-2859
Email: chidaka@force10networks.com